

# 平成30年度 事業報告書

社会福祉法人 生駒市社会福祉協議会

## 目 次

1	社会福祉協議会運営の基盤整備	・・・	1
2	地域福祉活動の推進	・・・	3
3	権利擁護活動の推進	・・・	1 1
4	ボランティア活動の推進	・・・	1 3
5	生活福祉資金等を活用した自立支援	・・・	1 4
6	災害時に向けた取組み	・・・	1 5
7	生活困窮者自立相談支援事業	・・・	1 6
8	生駒市福祉センターの円滑な管理・運営	・・・	1 8
9	地域包括支援センターの運営と介護予防の推進	・・・	2 3
1 0	デイサービスセンター幸楽の円滑な管理及び運営	・・・	2 5
1 1	交通遺児（高校生）奨学金の支給	・・・	2 9

# 事業報告

平成30年度、社会福祉法人生駒市社会福祉協議会は、財務活動等における法令遵守を徹底するとともに、情報開示を積極的に推進することによって、透明性の高い法人運営に努めました。

また、事業執行においては、生駒市くらしとしごと支援センターにおいて生活困窮者自立支援法（平成25年法律第105号）に基づく生活困窮者自立相談支援事業を実施するとともに、生駒市権利擁護支援センターでは、専門相談員が相談者に寄り添いながら、個々の相談者に沿った問題解決に向けての支援を行いました。

介護保険等事業においては、生駒市デイサービスセンター幸楽を拠点に、訪問介護、通所介護、居宅介護支援及び障がい福祉サービス事業を運営いたしました。それらに加えて地域支援事業の一環として、生活支援コーディネーターを配置し、生活支援・介護予防サービス提供体制の充実や強化、高齢者の社会参加を一体的に推進するための担い手やサービスの開発に取り組みました。

また、指定管理者として生駒市福祉センターの管理及び運営、意思疎通支援事業、社会参加支援事業等に取り組み、市民サービスの向上と地域福祉の推進に努めました。

当社会福祉協議会の事業運営に当たりましては、地域の皆様や団体の温かいご理解により、多大なご支援ご協力をいただきましたことを感謝申し上げますとともに、ここに事業概要及び執行状況を報告いたします。

## 1 社会福祉協議会運営の基盤整備

### (1) 組織体制・財政基盤の強化

#### ア 理事会・評議員会の運営

当協議会を円滑に運営するため、次のとおり開催した。

会議名	開催日	場 所	主 な 内 容
決算監査	5月15日	コミュニティセンター	・平成29年度社会福祉法人生駒市社会福祉協議会事業報告及び計算書類の監査
理 事 会	5月25日	コミュニティセンター	・平成29年度生駒市社会福祉協議会の事業報告及び計算書類について ・生駒市社会福祉協議会の評議員の補充選任について ・平成30年度生駒市社会福祉協議会定時評議員会の招集について
評 議 員 会	6月15日	コミュニティセンター	・平成29年度生駒市社会福祉協議会の事業報告及び計算書類について ・生駒市社会福祉協議会の理事及び監事の補充選任について

理 事 会	3月20日	コミュニティ センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成30年度生駒市社会福祉協議会資金収支補正予算（第1回）について</li> <li>平成31年度生駒市社会福祉協議会の事業計画及び資金収支予算について</li> <li>平成30年度生駒市社会福祉協議会第2回評議員会の招集について</li> </ul>
評 議 員 会	3月27日	コミュニティ センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>生駒市社会福祉協議会の理事の補充選任について</li> <li>平成30年度生駒市社会福祉協議会資金収支補正予算（第1回）について</li> <li>平成31年度生駒市社会福祉協議会の事業計画及び資金収支予算について</li> </ul>

## イ 共同募金事業への協力

### (ア) 共同募金委員会の運営

市民に分かりやすく透明性があり、参加しやすい募金運動を展開するため共同募金委員会を開催した。

開催回数                      3回

### (イ) 共同募金運動の推進

10月から赤い羽根共同募金運動を行い、自治会、市内小・中学校、生駒商工会議所を始め、市民の皆様のご理解ご協力により多額の募金をいただいた。

また、10月1日に、民生・児童委員連合会、ボランティア団体等の多数の協力を得て、市内の各駅前等で街頭募金活動を実施した。

(単位:円)

募金方法	平成30年度	平成29年度
戸 別 募 金	5,889,852	6,154,127
街 頭 募 金	501,483	475,509
職 域 募 金	385,393	384,579
法人(企業)募金	555,500	569,154
学 校 募 金	246,285	214,926
合 計	7,578,513	7,798,295

### (ウ) 歳末たすけあい運動の実施

民生・児童委員連合会、自治会、共同募金委員会、当協議会等が一体となって「歳末たすけあい募金運動」を行い、市民の皆様の温かい善意と関係者の熱心な協力によって多額の募金をいただいた。この募金は、年末に支援を必要とする人たちへの援助や事業等、地域の福祉活動に活用した。

(単位:円)

区 分	平成30年度	平成29年度
募金実績額	4,193,035	4,387,916

配分内訳

(単位:円)

対 象	金 額
市内児童養護施設（お年玉・入学祝い）	515,000
福祉団体（見舞金）	470,000
地区民生・児童委員協議会への助成 （高齢者の集い・歳末プレゼント）	2,407,333
福祉教育備品整備	178,804
ひとり親家庭一日レクリエーション	252,825
福祉団体へ事業助成	498,000
生活困窮者緊急支援事業	65,954
合 計	4,387,916

## （２）福祉情報の提供及び広報活動の強化

### ア 広報「社協だより・いこま」の発行

「社協だより・いこま」を発行して市内全戸に配布し、当協議会の事業の報告や情報提供に努めた。

- ・第104号(30年 4月 1日)
- ・第105号(30年 7月 1日)
- ・第106号(30年10月 1日)
- ・第107号(31年 1月15日)

### イ ホームページの充実

ホームページにより、当協議会に関する情報を、迅速に分かりやすく提供した。

## 2 地域福祉活動の推進

誰もが住み慣れた地域で、安心して暮らせる地域社会の実現のため、市民の参加を得て、様々な福祉ニーズの相談に応じるとともに、きめ細かな福祉サービスを組織的かつ総合的に推進した。

### （１）福祉総合相談体制の充実

#### ア 心配ごと相談の運営

民生委員・児童委員に相談員を委嘱し、毎週木曜日（祝日を除く。）に各種の相談に

応じた。

(単位:件)

相談事項	平成 30 年度		平成 29 年度	
	件数	うち 他機関紹介	件数	うち 他機関紹介
生 計	8	5	4	2
家族関係	4	3	5	0
健康・医療	3	1	1	1
財 産	0	0	1	1
教育・青少年問題	0	0	1	1
障がい者福祉	0	0	0	0
高齢者福祉	1	1	0	0
児童福祉	0	0	0	0
人権・法律	0	0	1	1
近隣問題	0	0	2	0
その他	3	0	5	0
合 計	19	10	20	6

イ 総合相談窓口の設置

相談を通じて市民のニーズを把握するとともに、当協議会の諸資源の積極的活用と専門的な相談に応じた。

(単位:件)

相談事項	平成 30 年度		平成 29 年度	
	件数	うち 他機関紹介	件数	うち 他機関紹介
生計	4	1	3	1
家族関係	3	3	2	0
健康・医療	5	3	2	2
財産	1	1	1	1
教育・青少年問題	2	1	0	0
障がい者福祉	14	6	23	7
高齢者福祉	38	12	22	16
児童福祉	2	1	0	0
人権・法律	20	2	24	5
近隣問題	8	4	5	2
その他	60	9	15	2
合 計	157	43	97	36

## (2) ふれあい・いきいきサロン推進事業

サロン活動への支援・情報提供

現在開設中の各サロンに助成等に関する情報の提供を行うとともに、サロン活動の啓発の一環として「社協だよりいこま」に活動紹介の記事を掲載した。

社協だよりいこま掲載

No.104号 楽庄サロン

No.105号 小明いきいきサロン

No.106号 萩の台住宅地ふれあいサロン

No.107号 白庭台サロン「話・和・輪っ」

## (3) 高齢者支援事業

ア 友愛電話訪問事業

(ア) 友愛電話訪問

ひとり暮らし高齢者の孤独感を解消することを目的に、訪問ボランティアの協力により、月曜日から金曜日（祝日を除く。）に電話による訪問を実施した。

区 分	平成 30 年度	平成 29 年度
対 象 者	33 人 (男性 6 人・女性 27 人)	35 人 (男性 6 人・女性 29 人)
実施日数	243 日	245 日
訪問回数	975 回	1,079 回
ボランティア	16 人	16 人

(イ) 友愛電話訪問交流会

友愛電話の利用者と訪問ボランティアが親睦を深めるため、交流会を開催した。

実 施 日 11月21日  
場 所 コミュニティセンター  
参 加 者 友愛電話利用者13人 訪問スタッフ 15人

(ウ) 友愛電話訪問ボランティア研修会

友愛電話の訪問ボランティアを対象に研修会を開催した。

実 施 日 3月6日  
場 所 コミュニティセンター  
参 加 者 9人

内 容 「あなたのお口は大丈夫？」  
奈良県歯科医師会  
歯科衛生士 岩城 聡美 氏

イ 介護家族支援事業（家族介護教室）

介護の方法や介護されている方の健康づくりなどについて、専門家から学ぶ教室を、デイサービスセンター幸楽で開催した。

回	開催日	人数(人)	内 容	講 師
1	8月25日	13	作るのも食べるのも負担が少なくおいしい食事	やすらぎの杜延寿 管理栄養士 半田 恵美子 氏
2	9月15日	15	介護の負担を少なくするためのいろいろな方法や道具を使ってみよう	西大和リハビリテーション病院 理学療法士 徳久 謙太郎 氏
3	9月29日	14	気持ちのよい排泄のために考えてみよう体験してみよう	㈱はいせつ総合研究所 代表 浜田 きよ子 氏
4	10月20日	12	アロマでこちよく ～介護者のストレス解消～	日本エンジェルセラピア協会 理事長 浦野 典子 氏
5	11月10日	12	認知症を知り認知症と生きるために	若年性認知症サポートセンター絆 菅 昌生 氏
合 計		66		

ウ 緊急時あんしんカードの配布

ひとり暮らし高齢者が緊急時に、速やかに連絡等ができるよう、各自の情報(氏名、住所、電話番号、緊急連絡先、かかりつけの病院等)を書き込んで、身近な所に常備できるカードを作成し、民生委員・児童委員を通じて配布した。

エ 認知症高齢者等見守り事業（認知症支え隊）

認知症等を理由として家に閉じこもりがちになった高齢者に対し、ボランティアが電話連絡や同行などの外出支援等を行い、本人の社会参加や活動を継続することにより、重度化を防止した。

区 分	平成 30 年度
隊員数	17 名
支援件数	55 件



#### (4) 障がい者支援事業

障害者週間（12月3日～9日）キャンペーン事業

##### (ア) 「障害者週間」街頭キャンペーン

障がいのある人とない人が共に支え合い、尊重し合う共生社会を推進するため、障がい者団体、市内小・中学校及び関係団体の協力を得て、生駒駅等において啓発活動を実施した。

実施日	12月4日
場所	生駒駅、東生駒駅、南生駒駅、学研北生駒駅、白庭台駅、近鉄百貨店生駒店、イオン登美ヶ丘店、いそかわ新生駒店及びマックスバリュ生駒南店
協力者	障がい者団体、生駒小学校、生駒南小学校、真弓小学校、上中学校、生駒南中学校及び民生・児童委員連合会

##### (イ) 「障害者週間」ポスター展

障がいについての理解と関心を高めることを目的に、市内小・中学生から募集した作品を展示した。

実施期間	11月26日～11月29日
場所	生駒市役所
実施期間	12月1日～12月8日
場所	生駒市福祉センター
参加校	生駒小学校、俵口小学校、真弓小学校、生駒南小学校及び生駒台小学校
作品数	19点

##### (ウ) 「障害者週間」講演会

障がい及び障がい者に対する理解を深めるとともに、障がい者の社会参加を促進するためのイベントを開催した。

実施日	12月8日
場所	生駒市福祉センター
講師	落語家 桂 三風 氏
内容	「やさしさの時代を築こう～笑いと福祉の心～」
参加者	一般・各団体等

#### (5) 福祉教育事業

##### ア 福祉出前講座

福祉についての学習の機会を提供し、福祉活動及びボランティア活動への発展と障

がい者等への理解を深めるため、地域に出向いて福祉出前講座を開催した。

開催日	場所	対象者	人数(人)	内容
4月21日	南コミュニティセンター	南地区民生・児童委員	33	車いす体験
5月15日	福祉センター	手話サークルハーブ	20	車いす体験
5月22日	壱分小学校	5年生	135	車いす体験
5月24日				
5月24日	南喜里が丘自治会館	南喜里が丘自治会・サロンM.K.O	20	高齢者疑似体験
6月14日	生駒台幼稚園	4歳児	57	手話体験
6月22日	なばた幼稚園	年中・年長組	55	手話体験
7月26日	南喜里が丘自治会館	南喜里が丘自治会・サロンM.K.O	20	手話体験
9月7日	生駒台幼稚園	年長	66	車いす体験
9月13日	ひがし保育園	3歳～5歳	125	手話体験
9月20日	生駒小学校	4年生	97	車いす体験
9月25日	壱分小学校	4年生	114	アイマスク体験
9月27日	南喜里が丘自治会館	南喜里が丘自治会・サロンM.K.O	20	車いす体験
9月27日	あすか野小学校	4年生	162	手話体験
10月4日	生駒小学校	4年生	97	手話体験
10月9日	俵口小学校	4年生	94	点字体験
10月16日	生駒北小学校	4年生	25	点字体験
10月30日	俵口小学校	4年生	94	車いす体験
11月1日	あすか野小学校	4年生	162	車いす体験
11月2日	真弓小学校	4年生	97	車いす体験
11月5日	中保育園	3～5歳	130	手話体験
11月6日	あすか野小学校	4年生	162	点字体験
11月6日	生駒高等学校	1年生	320	車いす・アイマスク体験
11月7日	俵口小学校	4年生	94	手話体験
11月7日	桜ヶ丘小学校	4年生	125	アイマスク体験
11月16日	鹿ノ台小学校	4年生	110	点字体験
11月16日	鹿ノ台小学校	4年生	110	手話体験
11月20日	福祉センター	手話サークルハーブ	25	アイマスク体験
11月27日	生駒東小学校	4年生	108	手話体験
11月27日	生駒南小学校	3年生	70	アイマスク体験
11月29日	鹿ノ台小学校	4年生	110	車いす体験
11月29日	鹿ノ台小学校	4年生	110	アイマスク体験
12月13日	南こども園	3歳児	58	手話体験
12月18日	生駒南小学校	5年生	70	車いす体験
1月22日	生駒東小学校	4年生	108	車いす体験
1月23日	壱分幼稚園	4歳児	47	手話体験
1月23日	桜ヶ丘小学校	5年生	124	車いす体験
1月25日	生駒台小学校	4年生	157	車いす体験
1月31日	なばた幼稚園	年長組	29	アイマスク体験
2月13日	上中学校	2年生	210	車いす体験
2月20日	鹿ノ台佐保保育園	3～5歳児	37	手話体験
合 計		40回	3,807	

## イ 社会福祉教育実習及び介護等体験実習生の受入れ

社会福祉教育の一環として、社会福祉士及び介護福祉士法（昭和 62 年法律第 30 号）に規定する社会福祉士等の資格取得に必要なソーシャルワーク実習等の学生を受け入れた。

・ソーシャルワーク実習	3 人
・介護等体験実習	5 人

## (6) ひとり親家庭交流事業

「ひとり親家庭一日レクリエーション」

親子のふれあいとひとり親家庭相互の交流を図り、社会参加を促すことを目的に開催した。

実施日	10月28日
場所	大阪ダッグツアー、天保山マーケットプレイス
参加者	33人

## (7) ふれあい援助事業

出産、けが等の一時的な事情により、家事や介護等の日常生活に支障がある家庭に対しホームヘルパーを派遣した。

区分	平成 30 年度	平成 29 年度
派遣件数	65 件	43 件
派遣時間	149 時間 00 分	95 時間 30 分

## (8) 車いす及び車いす対応車の貸出し

高齢者、身体障がい者等の外出援助のため、無料で車いす及び車いす対応車の貸出しを行った。

区分	平成 30 年度	平成 29 年度
車いす	138 台 (福祉センター 67 台)	137 台 (福祉センター 77 台)
車いす対応車	69 件	84 件

## (9) 善意銀行の運営

市民の皆様から善意の預託を受け、預託者の意思に従ってその指定先に払い出した。

預 託		払 出		払 出 先
件数	金 額	件数	金 額	
15 件	861, 236 円	1 件	100, 000 円	愛染寮

#### (10) 当事者組織の支援

身体障害者福祉会、障害児・者を守る連合会等の当事者の会と連携の強化及び連絡調整を図るとともに、福祉活動の強化に努めた。

#### (11) 社会福祉関係団体との連携強化

民生・児童委員連合会、老人クラブ連合会、保護司会、更生保護女性会をはじめ、身体障害者福祉会、障害児・者を守る連合会、手をつなぐ育成会、肢体不自由児・者父母の会、聴覚障害者協会、難聴者福祉協会、遺族会、介護者（家族）の会等と連携体制の強化及び連絡調整を図り、福祉活動の強化に努めた。

##### ア 生駒市民生・児童委員連合会事務局の運営

民生・児童委員連合会の事務局として、適切な運営を行った。

##### イ 生駒市老人クラブ連合会事務局の運営

老人クラブ連合会の事務局として、適切な運営を行った。

##### ウ 生駒市居宅介護支援事業者協会事務局の運営

居宅介護支援事業者協会の事務局として、適切な運営を行った。

##### エ 生駒市保護司会事務局の運営

保護司会の事務局として、適切な運営を行った。

##### オ 生駒市地区更生保護女性会事務局の運営

更生保護女性会事務局として、適切な運営を行った

#### (12) 生活支援コーディネーターの配置

生活支援・介護予防サービス提供体制の充実や強化、高齢者の社会参加を一体的に推進するため、関係者のネットワークや既存の取組み等と連携し、担い手の育成やサービスの開発を行った。

#### (13) 苦情等受付状況

苦情受付件数            0 件

### 3 権利擁護活動の推進

#### (1) 福祉サービス利用援助（日常生活自立支援事業）事業

判断能力の十分でない高齢者や障がい者の生活に関わる相談に応ずるとともに、福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理等の支援を行う福祉サービス利用援助事業を推進した。

(単位:件)

区 分	平成 30 年度	平成 29 年度
新規相談件数	33	18
成年後見制度 利用支援件数	0	1

区 分	平成 30 年度	平成 29 年度
利用者数	48 人 (内新規利用者 14 人)	37 人 (内新規利用者 10 人)
相談援助件数	210 件	155 件
生活支援員 活動件数	629 件	561 件
生活支援員 活動時間	537 時間 00 分	465 時間 30 分

#### ア 啓発講習会の開催

実施日	6月16日
対 象	ひだまり家族会 会員 20名
場 所	ららポート

#### (2) 権利擁護支援システムの構築

判断能力が十分でない人が成年後見制度等の社会資源を活用しながら、住み慣れた地域で暮らし続けることができる地域社会の実現を目指し、関係機関、団体、専門職等の関係者が地域のネットワークにより支援していくために総合的な窓口を開設し、各種事業を実施した。

#### ア 権利擁護支援センターの運営

知的障がい、精神障がい、認知症等により判断能力が十分でない者の権利の侵害への対応及び権利の行使に必要な障がい者及び高齢者に対し、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられることを目的に権利擁護に関する相談から支援までを総合的に行った。

生駒市権利擁護支援センター相談実績

専門相談員（社会福祉士）を配置し、必要な相談支援を行った。

（単位：件）

区 分	平成 30 年度	平成 29 年度
電話相談（メール、ファクス含む）	432	792
面談	39	88
訪問	92	96
合 計	563	976

イ 法人後見事業の実施

適切な成年後見人等がない場合に生駒市社会福祉協議会が成年後見人等に就任し必要な支援を行った。

受任件数 2 件（保佐類型 1 件、補助類型 1 件）

（ア）受任審査会の開催

実 施 日 1 月 1 6 日  
場 所 生駒市福祉センター

ウ 専門相談窓口の設置

（ア）成年後見制度無料相談会

リーガルサポート奈良支部会員の司法書士と権利擁護支援センターの職員（社会福祉士）による成年後見制度に関する相談会（毎月第 3 木曜日、予約制）を行った。

（単位：件）

区 分	平成 30 年度	平成 29 年度
相談件数	8	19

（イ）高齢者及び障がい者のための無料法律相談

弁護士による、高齢者及び障がい者のための無料法律相談（毎月第 2・4 木曜日、予約制）を行った。

（単位：件）

区 分	平成 30 年度	平成 29 年度
相談件数	19	27

（ウ）福祉関係機関向け専門相談

権利擁護支援センターの職員が相談を受け、弁護士への相談を行った。

(単位:件)

区 分	平成 30 年度	平成 29 年度
相談件数	12	3

#### エ 実務者連絡会の開催

実 施 日	3 月 2 2 日
場 所	生駒市福祉センター
内 容	講座「相続の基本とH30相続法改正のやさしい解説」
講 師	生駒総合法律事務所 弁護士 上崎 智代氏
参 加 者	1 5 人

#### オ 権利擁護支援セミナー

奈良弁護士会、奈良県司法書士会、(公社)成年後見センター・リーガルサポート奈良支部、(一社)奈良県社会福祉士会 権利擁護センターぱあと・ならとの共催で成年後見制度と遺言に関するセミナーを開催した。

実 施 日	2 月 2 日
場 所	コミュニティセンター
内 容	「人生100年時代をあなたらしく!～老後を安心して暮らすために～」
講 師	司法書士 早川 一義氏、社会福祉士 安達 直美氏 社会福祉士 雨宮 正和氏、弁護士 西村 香苗氏 弁護士 板野 陽一氏
参 加 者	6 1 人

### (3) 苦情等受付状況

苦情受付件数 0 件

## 4 ボランティア活動の推進

### (1) ボランティア活動保険等の受付

区 分	平成 30 年度	平成 29 年度
ボランティア活動保険	3,531 人	3,097 人
ボランティア行事保険	105 件	78 件
保険請求件数	9 件	8 件

### (2) ボランティア活動普及事業助成

小学校及び中学校の児童や生徒を対象に、社会福祉に対する理解と関心を深めることを目的として、学校に対して助成を行った。

助成校 生駒小学校、生駒北小学校、生駒東小学校、桜ヶ丘小学校、あすか野小学校、壺分小学校、生駒南第二小学校、生駒中学校及び奈良北高等学校

### (3) 福祉ボランティアグループ助成

誰もが住みなれた地域で安心して暮らせる福祉のまちづくりの推進を目的として、福祉ボランティアグループに対して助成を行った。

助成グループ OHP いこま、音訳グループ生駒やまびこ、幸楽ボランティア、手話サークルかしの木、手話サークルハーブ及び夢の会

### (4) 生駒市内のボランティア団体との連携

#### ア 登録ボランティアへの情報提供

12の登録団体にボランティア活動に必要な活動資金となる民間の助成金等の情報を7月から配信した。

情報配信回数（7月～3月） 19回

#### イ 登録ボランティア交流会の開催

実施日	2月28日
場所	コミュニティセンター
内容	・平成30年7月豪雨災害社協職員派遣報告 ・アルファ米の炊出し体験
参加者	30人

### (5) 苦情等受付状況

苦情受付件数 0件

## 5 生活福祉資金等を活用した自立支援

低所得者、障がい者又は高齢者に対し、奈良県社会福祉協議会が実施する生活福祉資金貸付事業を活用した資金の貸付けと必要な援助指導等により、経済的自立及び生活意欲の助長促進並びに在宅福祉及び社会参加を促進した。

### (1) 低所得者世帯等への支援活動

#### ア 生活福祉資金の貸付相談

民生委員・児童委員の協力を得て、低所得者、高齢者及び障がい者の世帯に生活福祉



資金の貸付けを行い、経済的な自立と生活意欲の促進に努めた。

(単位:件)

区 分	平成 30 年度	平成 29 年度
相談件数	99	109

#### イ 貸付申請件数

区 分	平成 30 年度		平成 29 年度	
	件数(件)	貸付決定額(円)	件数(件)	貸付決定額(円)
福祉資金				
・福祉費	5	2,548,000	2	1,481,000
・緊急小口資金	17	1,071,000	19	1,333,000
教育支援資金				
・教育支援費	5	5,383,000	8	9,096,000
・就学支度費	4	1,086,000	6	1,617,000
総合支援資金				
・生活支援費	0	0	1	282,000
臨時特例つなぎ資金				
	2	130,000	2	200,000
不動産担保型生活資金				
・要保護世帯向け	1	6,054,300	0	0
合 計	34	16,272,300	38	14,009,000

#### (2) 苦情等受付状況

苦情受付件数 0 件

## 6 災害時に向けた取組み

#### (1) 災害支援に関する学習・啓発活動

災害時における連携・協働のあり方などについて考えることを目的に登録ボランティア交流会の中で講習会を行った。(再掲)

#### (2) 被災地支援活動

「平成30年7月豪雨災害」にかかる職員派遣要請を受け、本会職員を被災地へ2人派遣した。

派遣期間	8月2日～6日
派遣場所	倉敷市玉島支所
支援内容	緊急小口資金特例貸付の相談支援

派遣期間	8月27日～31日
派遣場所	倉敷市災害ボランティアセンター
支援内容	災害ボランティアセンターの運営支援

### (3) 苦情等受付状況

苦情受付件数 0件

## 7 生活困窮者自立相談支援事業

経済的な問題のみならず、複合的な問題を抱えている生活困窮者に対して、生駒市くらしとしごと支援センターにおいて個別に対応し、自立に向けて支援する生活困窮者自立相談支援事業を推進した。

### (1) 生駒市くらしとしごと支援センターの運営

生活困窮者が困窮状態から早期に脱却することを支援するため、各生活困窮者に応じた包括的かつ継続的な相談支援を実施するとともに、地域における自立・就労支援体制を構築するために相談員を配置し総合的な支援を行った。

(単位:件)

区 分	平成 30 年度	平成 29 年度
新規相談件数	137	136
プラン作成件数	65	80

(単位:件)

区 分	平成 30 年度	平成 29 年度
電話相談	618	832
訪問同行支援	166	172
面談支援	485	465
合 計	1,269	1,469

#### ア 支援調整会議

生活困窮者の複合的な課題を整理し、課題解決のための支援プランについて関係機関と合同でケースの検討及び支援の決定を行った。

区 分	平成 30 年度	平成 29 年度
開催数	14 回	16 回
検討ケース	8 件	12 件
プラン確認	65 件	80 件
評価	63 件	69 件

## イ 就労支援実績

生活困窮者に対する就労支援を行った。

(単位:件)

区 分	平成 30 年度	平成 29 年度
就労支援対象者数	34	46
一般就労開始件数	13	38
就労収入増加件数	5	5

## ウ サロンの開催

生活困窮者の居場所作りと、自己理解を深めるプログラムを実施し、社会参加の機会の提供に努めた。

実施回数	計 1 2 回
場 所	コミュニティセンター
内 容	個人で取組みが出来るナノブロック等を使ったワークや、コミュニケーションを取りながら課題を完成させるワークなどを取り入れ、個人の特性等の理解を深め、他者との関係性の構築のためのきっかけ作りとした。
講 師	Co-en 浜口 桂氏
参 加 者	3 0 人 (延べ)

## (2) 住居確保給付金

離職により生活に困って、住居を失った人、又は住居を失う恐れの高い人に安定した就職活動ができるよう、期限付きで家賃相当額を支給する制度を推進した。

(単位:件)

区 分	平成 30 年度	平成 29 年度
相談件数	8	4
申請件数	1	2

## (3) 被保護者就労支援事業

生活保護被保護者に対する就労支援として、生活保護被保護者就労支援促進事業を活用し、ハローワークと連携しながら就労支援を行った。

(単位:件)

区 分	平成 30 年度	平成 29 年度
支援対象者件数	21	20
就労開始件数	8	15
就労増収件数	0	1

#### (4) 家計相談支援事業

家計に課題を抱える生活困窮者からの相談に応じ、相談者とともに家計の状況を明らかにして生活の再生に向けた意欲を引き出した上で、家計の視点から必要な情報提供や、専門的な助言・指導等を行った。

##### ア 家計相談支援事業相談件数

生活困窮者からの相談に応じ、家計の問題を明らかにして生活の再生に向けたプランを作成し、家計を管理する力を高め、早期に家計が再生するための支援を行なった。

(単位:件)

区 分	平成 30 年度	平成 29 年度
相談支援件数	21	17

##### イ 無料家計相談会

奈良県司法書士会の司法書士と社協職員による家計再建等に関する相談会（毎月第2水曜日、予約制）を行った。

(単位:件)

区 分	平成 30 年度	平成 29 年度
相談件数	12	20

#### (5) 就労準備支援事業

生活リズムが崩れている、社会との関わりに不安を抱えている、就労意欲が低下しているなど、複合的な課題があり既存の雇用施策の枠組みでは支援になじまない方に、一般就労に従事する準備としての基礎能力形成を計画的かつ一貫して支援を行った。

区 分	平成 30 年度
支援対象者件数	5
支援プログラムの実施	27
職場見学	1

#### (5) 苦情等受付状況

苦情受付件数 0 件

## 8 生駒市福祉センターの円滑な管理・運営

### (1) 生駒市福祉センターの指定管理事業

障がい者や高齢者と健常者のふれあい・心の通い合う交流の場として、また、ボランティアの活動拠点として、円滑な管理運営に努めた。

また、各種教室、スポーツレクリエーション等を通して、障がい者の自立、生活意欲の向上及び生きがいづくりに努めた。

(単位:人)

利用区分	平成30年度	平成29年度
福祉団体	3,691	3,822
ボランティア団体	6,997	6,677
各種教室	5,123	5,723
市関係	1,298	1,257
手話関係	73	12
行事	2,196	2,329
ヘルストロン	7,544	6,909
合計	26,922	26,729

#### ア 各種教室

在宅障がい者や高齢者（60歳以上）の自立及び生きがい作りや交流活動の場として、各種教室を開講した。

教室名	平成30年度		平成29年度	
	開講回数(回)	参加人数(人)	開講回数(回)	参加人数(人)
やきもの教室A	17	262	18	206
やきもの教室B	17	133	18	214
水彩画教室	18	243	19	270
さをり織り教室	17	146	18	142
料理教室	9	147	9	137
パンフラワー教室	18	281	18	259
中国気功教室	18	459	18	448
体操教室	17	192	19	202
カラオケ教室A	19	398	19	367
カラオケ教室B	19	375	19	386
編み物教室	19	266	19	284
絵てがみ教室	19	257	18	260
手作りパン教室	8	131	9	141
園芸教室	19	284	18	275
ほのぼの陶芸教室	-	-	18	205
健康ヨガ教室	19	520	19	506
健康太極拳教室	-	-	17	455
フラダンス教室	18	418	20	435
合計	271	4,512	313	5,192

短期教室名	平成30年度		平成29年度	
	開講回数(回)	参加人数(人)	開講回数(回)	参加人数(人)
ハーバリウム教室	-	-	1	10
ビーズ教室	6	98	6	84
パッチワーク教室	10	171	10	163
健康音楽教室	6	93	6	94
そばうち教室	-	-	1	19
親子料理教室	1	21	1	19
お菓子教室	1	20	1	16
男性クッキング教室	3	39	3	38
デコ寿司教室	-	-	1	19
アロマキャンドル教室	1	14	-	-
ストレッチ教室	6	155	-	-
実用習字教室	-	-	6	69
合 計	34	611	36	531

#### イ 福祉センター祭

障がい者や高齢者（60歳以上）が各種教室で学んだ成果を展示し、及び発表する場として福祉センター祭を開催した。

実施日	3月10日
場 所	生駒市福祉センター
内 容	各種教室の活動発表や作品展示 福祉関係団体等による活動発表や体験コーナー、模擬店等

#### ウ 各種行事

障がい者（児）とその家族、高齢者（60歳以上）を対象に、各種行事を実施した。

##### (ア) ふれあいハイキング

障がい者（児）とその家族等を対象にハイキングを実施した。

実施日	9月9日
場 所	大阪海遊館（大阪市）
参加者	89人

##### (イ) レクリエーションゲーム大会

障がい者（児）とその家族を対象にレクリエーションを実施した。

実施日	1月20日
場 所	生駒市福祉センター
参加者	54人

## エ ボランティア講習会

登録ボランティアを対象に、障がい者及び高齢者への理解を深めるための講習を実施した。

実施日 6月20日  
場所 生駒市福祉センター  
内容 ボランティアを長く続けるための健康法  
講師 スマイルさくらリハビリ訪問看護ステーション  
作業療法士 三波 幸恵氏  
参加者 17人

実施日 10月30日  
場所 生駒市福祉センター  
内容 映画上映会「もうろうをいきる」  
参加者 60人

## オ 意思疎通支援事業

### (ア) 手話通訳者等設置事業

専任の手話通訳者を設置し、手話通訳者派遣のコーディネートを行うとともに、聴覚障がい者等の日常生活における様々な相談に応じた。

### (イ) 手話通訳者派遣事業

聴覚障がい者等の社会参加におけるコミュニケーションを円滑に行うため、手話通訳者を派遣した。

区分	平成30年度	平成29年度
派遣件数	300件	237件
派遣人数	354人	294人

### (ウ) 要約筆記奉仕員派遣事業

聴覚障がい者等の社会参加におけるコミュニケーションを円滑に行うため、要約筆記奉仕員を派遣した。

区分	平成30年度	平成29年度
派遣件数	38件	35件
派遣人数	102人	107人

## カ 社会参加支援事業

### (ア) 点字・声の広報の発行

視覚障がい者の社会参加・自立の一助として、「点字広報いこま いこまち」及び「声の広報いこま いこまち」を発行した。

区 分	平成 30 年度		平成 29 年度	
	回数(回)	利用人数(人)	回数(回)	利用人数(人)
点字広報	21	63	21	63
声の広報	21	313	21	277

### (イ) 各種講座

聴覚障がい者や視覚障がい者の社会参加におけるコミュニケーションを助ける技術を学ぶ講座を開催した。

講 座 名	平成30年度		平成29年度	
	開講回数(回)	参加人数(人)	開講回数(回)	参加人数(人)
手話奉仕員養成講座	44	795	44	676
聞こえのサポーター講座	7	38	7	50
点訳講習会	10	71	10	33
音訳講習会	6	60	6	46
合 計	67	964	67	805

## (2) 自主事業

点字図書の貸出し

視覚障がい者等に情報を提供するため、芥川賞・直木賞受賞作品の点字図書を貸し出した。

区 分	平成 30 年度	平成 29 年度
利用件数	5 件	9 件
貸出数	11 冊	25 冊

## (3) 苦情等受付状況

苦情受付件数 0 件



## 9 地域包括支援センターの運営と介護予防の推進

高齢者の地域生活の支援のため、地域ネットワークづくりを推進するとともに、各種支援サービスを提供した。

### (1) 包括的支援事業

#### ア 地域包括支援センターの運営

高齢者が住み慣れた地域で、その人らしい生活を送るために、介護サービスを始め様々なサービスを包括的に受けられるよう、関係機関との調整等、高齢者を支える総合機関としての運営を行った。

#### (ア) 介護予防ケアマネジメント事業

総合事業対象者、要支援認定者に対し介護予防サービス支援計画を作成した。  
(単位:件)

総合事業	平成 30 年度	平成 29 年度
総合事業対象者	77	79
要支援 1	112	111
要支援 2	210	185
合 計	399	375

(単位:件)

予防給付	平成 30 年度	平成 29 年度
要支援 1	119	189
要支援 2	278	253
合 計	397	442

#### (イ) 総合的な相談支援事業

介護保険等様々な制度や地域資源との連携による相談及び支援を実施した。  
(単位:件)

区 分	平成 30 年度	平成 29 年度
相談件数	479	577

#### (ウ) 包括的かつ継続的ケアマネジメント事業

包括的かつ継続的なケアマネジメントが行えるよう、地域のケアマネジャーに対し支援を行った。

集団支援	平成 30 年度	平成 29 年度
実施回数	6 件	8 件
参加者	166 人	101 人

(単位:件)

個別支援	平成 30 年度	平成 29 年度
相談・支援件数	98	62

#### (エ) 地域支援体制整備

地域のネットワークづくりのため、関係機関と連携を図った。

区 分	平成 30 年度	平成 29 年度
連携件数	83 件	73 件
地域ケア会議	47 回	42 回

#### イ 介護予防事業

高齢者やその家族を対象に介護予防に関する知識及び技術の普及啓発を目的に、介護予防教室を実施した。

##### (ア) 介護予防教室

開催日	開催場所	人数(人)	内 容
6 月 15 日	西松ヶ丘集会所	18	ひまわりの集い（地域出前型）生駒市健康づくり推進員連絡協議会 「生駒市の現状と今後について」「徘徊模擬訓練について」社協地域包括
7 月 1 日	東松ヶ丘集会所	19	認知症サポーター養成講座
9 月 26 日	デイサービスセンター幸楽	5	「介護予防手帳をもっと活用しましょう」 「認知症になっても安心して過ごせるやさしい地域へ」社協地域包括
10 月 31 日	デイサービスセンター幸楽	18	ひまわりの集い（地域出前型）生駒市健康づくり推進員連絡協議会 「いきいき百歳体操」社協地域包括
11 月 23 日	光陽台集会所	36	「総合事業や介護保険制度について」社協地域包括
合 計		96	

(イ) 生活機能評価未返送者実態把握事業

市が郵送した「基本チェックリスト」の未返送者の実態等を把握するため、調査を行った。

(単位:件)

区 分	平成 30 年度	平成 29 年度
訪問支援件数	15	16

ウ 認知症地域支援推進員の配置

(ア) 認知症の人及び家族の支援として相談業務を行った。

(単位:件)

区 分	平成 30 年度	平成 29 年度
相談件数	100	86

(イ) 認知症サポーター養成講座等を開催した。(介護予防教室開催を除く)

区 分	平成 30 年度	平成 29 年度
回数	6 回	3 回
人数	299 人	195 人

(2) 苦情等受付状況

苦情受付件数 0 件

## 10 デイサービスセンター幸楽の円滑な管理及び運営

利用者の多様化、複雑化する高齢者の介護及び予防並びに障がい者の生活ニーズに対応するとともに、自立支援に向けたサービス提供に努めた。

(1) 介護保険事業の運営

ア 要介護認定調査事業

市から介護保険認定調査事業を受託し、各地域において認定調査を行った。

(単位:件)

区 分	平成 30 年度	平成 29 年度
市 内	66	54
他 市	2	0

イ 居宅介護支援事業（ケアプランの作成）

要介護認定者に対し、居宅サービス計画（ケアプラン）を作成した。  
（単位：件）

区 分	平成 30 年度	平成 29 年度
要介護 1	414	410
要介護 2	290	290
要介護 3	195	173
要介護 4	106	115
要介護 5	78	72
合 計	1,083	1,060

ウ 訪問介護事業

要介護認定者に対し訪問介護員を派遣し、生活援助及び身体介護を行った。

区 分	平成 30 年度		平成 29 年度	
	人数(人)	回数(回)	人数(人)	回数(回)
要介護 1	154	1,168	178	1,626
要介護 2	129	912	127	1,143
要介護 3	82	544	59	621
要介護 4	28	335	10	93
要介護 5	14	140	11	140
合 計	407	3,099	385	3,623

エ 通所介護事業

要介護認定者を対象に、送迎、食事、入浴等の通所サービスを行った。

区 分	平成 30 年度		平成 29 年度	
	人数(人)	回数(回)	人数(人)	回数(回)
要介護 1	238	2,165	235	2,102
要介護 2	155	1,089	122	885
要介護 3	127	855	71	484
要介護 4	39	279	75	832
要介護 5	49	351	57	513
合 計	608	4,739	560	4,816

オ 介護予防訪問介護事業・第 1 号訪問介護事業

総合事業対象者、要支援者に対し訪問介護員を派遣し、介護予防訪問介護を行った。

区 分	平成 30 年度		平成 29 年度	
	人数(人)	回数(回)	人数(人)	回数(回)
総合支援事業対象者	12	52	27	114
要支援 1	92	440	95	439
要支援 2	198	1,019	200	1,077
合 計	302	1,511	322	1,630

#### カ 訪問型サービス A 事業

総合事業対象者、要支援者に対し生活支援員を派遣し、掃除や洗濯などの生活援助サービスを行った。

区 分	平成 30 年度		平成 29 年度	
	人数(人)	回数(回)	人数(人)	回数(回)
総合支援事業対象者	64	262	41	161
要支援 1	62	254	52	186
要支援 2	68	256	68	270
合 計	194	772	161	617

#### キ 介護予防通所介護事業・第 1 号通所介護事業

総合事業対象者、要支援認定者を対象に、送迎、食事、入浴等の通所サービスを行った。

区 分	平成 30 年度		平成 29 年度	
	人数(人)	回数(回)	人数(人)	回数(回)
総合支援事業対象者	5	19	1	1
要支援 1	35	122	50	187
要支援 2	158	978	191	1,224
合 計	198	1,119	242	1,412

#### ク 通所型サービス A 事業

総合事業対象者、要支援者を対象に、送迎、マシンを使った運動プログラムを実施した。

区 分	平成 30 年度
利用人数	324 件
開催回数	83 回

ケ 第1号通所型サービスC（パワーアップPLUS教室）

理学療法士や作業療法士、看護師、介護予防運動指導員等の専門職の指導による、マシンを使った運動や自宅で行う運動の個別指導を行い、短期間で元気な生活を取戻すための教室を実施した。

区 分	平成 30 年度	平成 29 年度
エントリー数	294 件	325 件
教室開催回数	191 回	192 回

(2) 障がい福祉サービス事業の実施

ア 居宅介護（ホームヘルプ）事業

ホームヘルパーを派遣し、介護、家事等生活全般にわたる援助を行った。

区 分	平成 30 年度	平成 29 年度
利用人数	59 人	55 人
回 数	475 回	424 回

イ 生活介護（デイサービス）事業

障がい者に送迎、食事、入浴等の通所サービスを行った。

区 分	平成 30 年度	平成 29 年度
利用人数	1 人	2 人
回 数	97 回	83 回

ウ 移動支援・同行援護・行動援護事業

障がい者が円滑に外出できるよう、移動支援、同行援護及び行動援護を行った。

移動支援	平成 30 年度	平成 29 年度
利用人数	0 人	6
回 数	0 回	15 回

同行援護	平成 30 年度	平成 29 年度
利用人数	39 人	21 人
回 数	215 回	164 回

行動援護	平成 30 年度
利用人数	7 人
回 数	11 回

### (3) 自主事業

#### ア はいせつ無料相談（ミニむつき庵いこま）

排泄に関する問題を抱えながら、適切な指導や助言を得られずにいる方、また問題の存在に気付かないまま過ごしている方に対し、面談や電話等での相談の対応を行った。

#### イ 要介護者及び家族交流事業（salon de kouraku）

普段介護を行っている家族、常時の介護を必要とはしないが社会的交流や役割などの獲得が必要な要支援者等に対して、毎月第3水曜日の10時から、情報交換やリフレッシュができる場を提供した。

### (4) 苦情等受付状況

苦情受付件数                      0 件

### 1 1 交通遺児（高校生）奨学金の支給

交通災害により親等を失った高校生に交通遺児奨学金を支給した。

交通遺児奨学金支給者    1 人